

(1) 実施機関名：

国土地理院

(2) 研究課題(または観測項目)名：

潮位連続観測

(3) 最も関連の深い建議の項目：

1. 地震・火山現象予測のための観測研究の推進

(1) 地震・火山現象のモニタリングシステムの高度化

ア．日本列島域

(4) その他関連する建議の項目：

1. 地震・火山現象予測のための観測研究の推進

(3) 地震・火山現象に関するデータベースの構築

ア．地震・火山現象の基礎データベース

(5) 本課題の 5 か年の到達目標：

日本列島全域の地殻活動のモニタリングシステムの高度化に寄与するため、潮位連続観測を継続すると共に、観測システムの更新やデータの共有化を進める。

(6) 本課題の 5 か年計画の概要：

全国 25 験潮場での潮位連続観測を引き続き実施し、地殻変動の把握を行うとともに、観測データをホームページ等で公開していく。また、潮位データの共有化を進め、津波等の発生時における予測や終息等の防災情報の発信に活用を図る。

(7) 平成 23 年度成果の概要：

全国 25 験潮場に初島、真鶴の潮位観測所を加えた 27 箇所で引き続き潮位連続観測を実施し、潮位観測データ、験潮場間の潮位差データを用いて地殻変動の把握を行った。観測結果については、30 秒潮位、毎時平均潮位、日平均潮位、月平均潮位等をホームページ等で公開するとともに、国土交通省の防災情報提供センターに潮位データを集約し、潮位データの共有化を図った。平成 23 年東北地方太平洋沖地震に際しては、潮位データを即座に気象庁に転送し、津波等の予測や終息等の防災情報の発信に活用された。また、同地震に伴う津波により倒壊した「相馬験潮場」については、暫定的に観測機器を設置し観測を再開した。

(8) 平成 23 年度の成果に関連の深いもので、平成 23 年度に公表された主な成果物(論文・報告書等)：

国土地理院，日本全国の地殻変動，地震予知連絡会会報，86，9-10・18-21，2011．

国土地理院，伊豆地方の地殻変動，地震予知連絡会会報，86，379・383，2011．

国土地理院，東海地方の地殻変動，地震予知連絡会会報，86，427・432，2011．

三浦優司，川元智司(2011)：験潮場の GPS 連続観測データを用いた海面変動解析，日本測地学会第 116 回講演会要旨集，143-144．

大島健一，三浦優司，影山勇雄，古屋有希子，矢萩智裕，丸山一司(2012):平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震によるGPS観測施設・験潮場の被災状況及び復旧対応，国土地理院時報，122, 113-125.

(9)平成24年度実施計画の概要：

全国27験潮場等での潮位連続観測を引き続き実施し、地殻変動の把握を行うとともに、観測データをホームページ等で公開していく。また、潮位データの共有化を進め、津波等の発生時における予測や終息等の防災情報の発信に活用を図る。平成23年東北地方太平洋沖地震に伴う津波により倒壊した「相馬験潮場」については、新たに験潮場を設置し、本格観測に移行するとともに、その他の験潮場も含め、通信二重化等の防災能力向上等のための更新計画を推進する。

(10)実施機関の参加者氏名または部署等名：

測地観測センター地殻監視課
他機関との共同研究の有無：有
気象庁

(11)公開時にホームページに掲載する問い合わせ先

部署等名：地理地殻活動研究センター 研究管理課
電話：029-864-5954
e-mail：eiss@gsi.go.jp
URL：http://www.gsi.go.jp

(12)この研究課題(または観測項目)の連絡担当者

氏名：飛田幹男
所属：地理地殻活動研究センター 地殻変動研究室

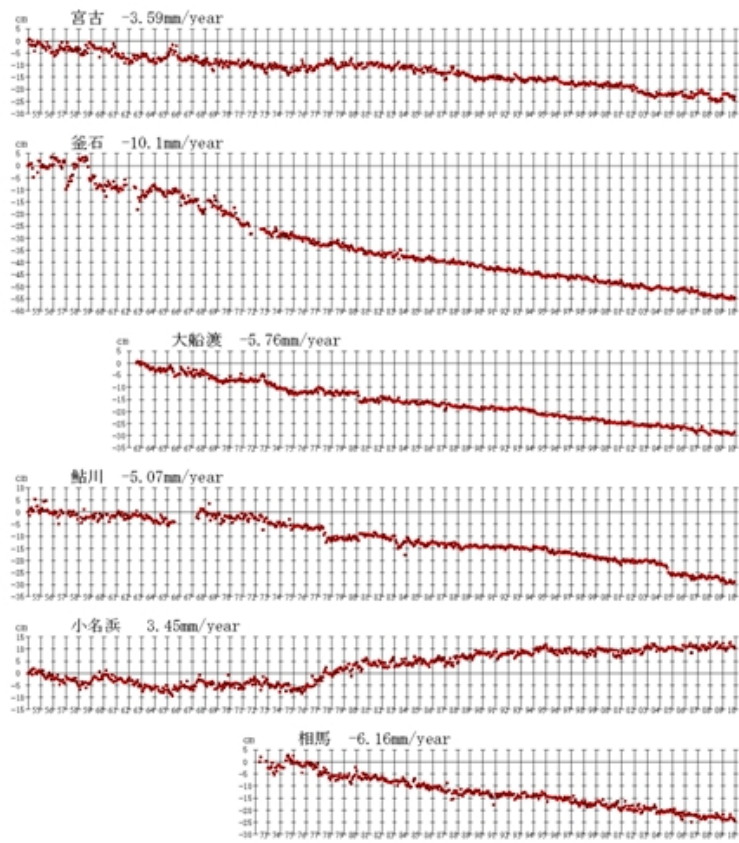


図1. 加藤&津村の解析方法による、各験潮場の上下変動

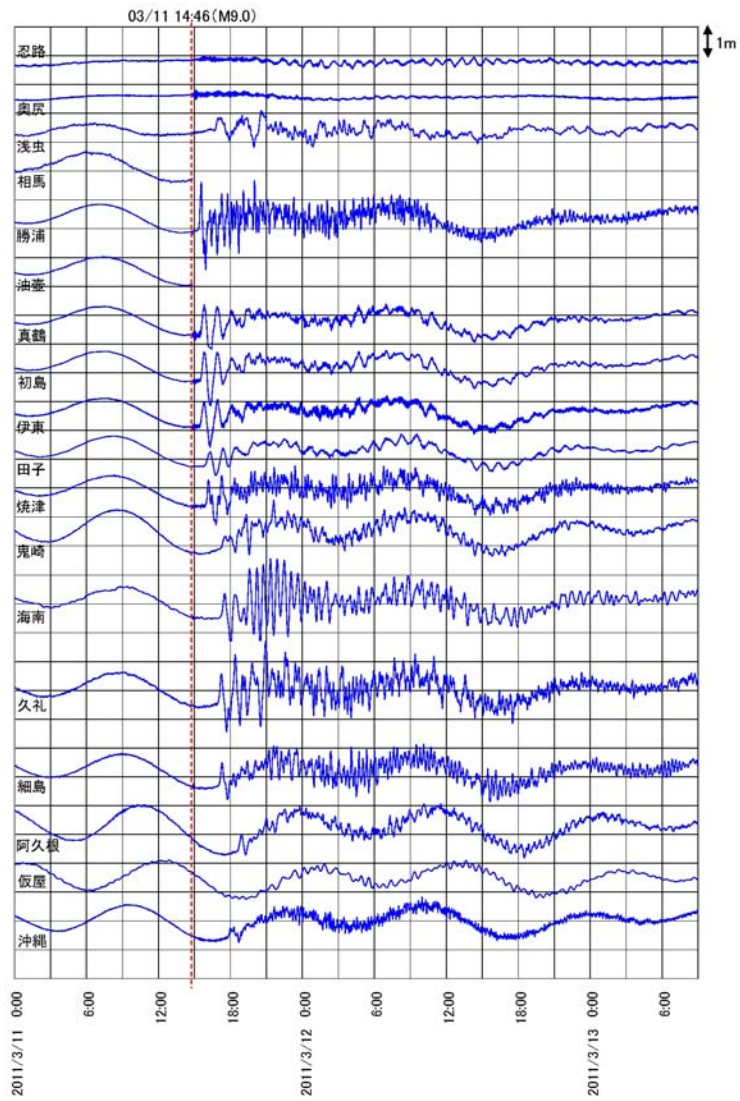


図 2 . 国土地理院の験潮場で観測された東北地方太平洋沖地震に伴う津波